

デジタル写真をデータティップとして使う

ご存知でしたか?... ジオタグ処理で自動的に作られるフィールドを使うか、あるいは画像ファイルを指定するフィールドを作ることでデジタル写真をデータティップとして表示することができます。

デジタル写真をデータティップとして表示することで...

- デジタル写真を飛び出るデータティップとして表示することができます。
- デジタル写真を他のレイヤからの情報と一緒にデータティップに表示することができます。

このメニューを選択すると右図のようなくデータティップ設定) ウィンドウが開きます。

クリックしてデータティップに表示する情報のあるテーブルとフィールドを選択します。

画像ファイルのパスを指定するフィールドを選択すると、データティップとして写真を表示することができます。

デジタル写真のサムネイルのデータティップ表示

デジタル写真をデータティップとして表示する方法

- [ツール] > [ジオタグ画像データベースの作成処理] を使って、デジタル写真にジオタグを付けます ([BLOB] として画像をテーブルに埋め込む) ボタンがオンになっていることを確認して下さい。
- または、データベースフィールドを作成してレコードに写真パスを指定します (<テーブルプロパティ> ウィンドウで「使い方 (Usage)」が [画像 (Image)] (ファイル名) に設定されていることを確認してください)。
- ジオタグ画像データベースか、写真のパスを指定するフィールドのあるデータベースを持った、データベースピンマップまたはベクタポイントを表示します。
- オブジェクトの右ボタンメニューから [データティップの設定] を選択します。
- [ポイント] タブをクリックし、[表示] メニューから [属性の選択] を選択します。そのあと、ジオタグ画像データベースから [画像 (Image)] かサムネイルフィールドを選択するか、画像へのパスを示すフィールドを選択します。
- ポイントシンボルまたはデータベースのピンの上でマウスを止め、デジタル写真のサムネイルを表示します。

さらに知りたいことがあれば...



以下のテクニカルガイドをご覧ください：
デジタル写真のピンマップ表示 (Pinmap Digital Photos)

